

タイトル

ゴージャスお宝鑑定家〜う〜ん、ゴージャス!」28

登場人物

剛田 剛田質店の店主。ゴージャスな品物しか鑑定しないことで有名。言動や所作が優雅で品があるが、その優雅さが度を超え、「クセが強い」と周囲に思われて

いる。モットーは『ゴージャスタるもの
優雅たれ』。口癖は「ゴージャス！」

白金 剛田質店の見習い鑑定士。一般人並
みの価値観を持つ普通の青年。剛田のゴ
ージャスすぎるテンションに毎回振り回
されるが、実直でお宝を大事に思う心優
しい性格。

客（謎の紳士） アクアマリン製の抱き枕
を持ち込む謎の人物。どこか胡散臭いが、
その雰囲気は妙にゴージャス。彼の背景
には意外な事情が隠されている。

第一幕：剛田質店の朝

シーン一：開店準備

（剛田質店。朝の光が差し込む中、白金が掃除をしている。剛田が奥から登場。）

剛田（優雅に）おはよう、白金君！今日もゴージャスな一日が始まるね！

白金（ため息）おはようございます、剛田さん。昨日の買取品、やっぱり赤字でしたよ。どうしてあの金のティーポットなんか…。

剛田（胸を張って）赤字でも心は豊かだ！
ゴージャスたる者、損得ではなく価値を見るのだよ。

白金（ぼそっと）でも、店がつぶれたら元も子もないですね。

（ベルが鳴り、客が入店。）

剛田（満面の笑みで）いらっしやいませ！
ゴージャスなお宝をお持ちでしょうか？

第二幕：ゴージャスな葛藤

シーン②：お客の事情

（剛田質店の鑑定台の前。剛田が抱き枕を優雅に眺めている。白金は困惑顔で紳士に向き直る。）

白金（控えめに）えっと…この抱き枕、何か特別な背景があるんですか？

謎の紳士（少し沈黙した後、深く息をつく）実は、これは私の祖母が大切にしていたものなのです。

剛田（顔を輝かせ）おお、これはまた：背景までゴージャス！祖母が大切にしていたということは、愛と歴史が詰まっているわけだね。

白金（怪訝そうに）でも：なぜ抱き枕なんですか？普通はペンダントとか宝石箱とか、もっと形に残りやすいものでは？

謎の紳士（苦笑いして）祖母は変わった人です。この抱き枕を＝幸せの青い夢と呼んで、いつも抱えて寝ていたんです。彼女曰く、この枕で眠ると不思議と嫌な夢を見ないそうです。

剛田（目を輝かせて）なんと！それはまさに、ゴージャスな逸品だ！夢にまで輝きをもたらすとは：！

白金（半信半疑で）でも、この硬さで寝るのは：絶対に無理だと思うんですけど。

謎の紳士（苦笑いして）確かに硬いですね。でも祖母はこれを愛用していました。それだけに私も手放すのは少し悩んだのですが、次に使う人に幸せを届けてほしいと思ひまして。

剛田（深くうなづく）素晴らしい。物に込められた想い：それを次世代へと受け継ぐ。それこそがゴージャスの真髓だ！

白金（ぼそっと）どっちかというところゴージャスの暴走ですよね。

シーン ♪：試してみる

（剛田が抱き枕を手に取り、鑑定台に座る。）

剛田（真剣な表情で）白金君、ゴージャスな品を語るには体験が必要だ。この枕がいかに優雅な癒しをもたらすか、私が証明しよう。

白金（慌てて）いやいや！そんな硬い枕で寝たら首を痛めますよ！

剛田（悠然と）恐れるな。ゴージャスたる者、どんな状況でも優雅に対応するのだ。

（剛田が枕に頭を乗せる。その瞬間、微笑みながら目を閉じる。）

剛田（うっとりして）ほほう、この感触は……ゴージャス……そのまま一瞬で眠る）

白金（驚き）えっ、寝た！？本当に寝ちゃったよ！？

（剛田が微かに寝息を立て始める。白金は必死に肩を揺すって起こそうとする。）

白金 剛田さん！起きてください！これ、営業中なんですよ！

（剛田がゆっくり目を開ける。）

剛田 （満足げに）白金君、この枕は本物だ。硬さが逆に安心感を与える。そして石の冷たさが心を落ち着かせる……。まさに：ゴージャス！

白金 （ツッコミ気味に）絶対それ疲れて寝ただけですよ！癒しとかじゃなくて。

剛田 （聞いていないふりをして）これを手放すのはもったいないが、買い取って次なる所有者に届けようではないか。

（白金は頭を抱えながらため息をつく。）

第三幕：ゴージャスな結末

シーン1：取引成立

（剛田が謎の紳士に抱き枕の価格を提示する。）

剛田 さて、貴殿の抱き枕。その輝き、その想い…すべてを考慮し…ゴージャスな価格を出そう。

（剛田が金額を書いた紙を見せる。紳士は驚きつつも微笑む。）

謎の紳士（感慨深げに）ありがとうございます。います。この枕がまた新たな幸せを届けることを願います。

（紳士が去り、店に静寂が訪れる。）

白金（心配そうに）剛田さん、これ：赤字じゃないですか？本当に大丈夫なんですか？

剛田（微笑んで）大丈夫だよ、白金君。赤字より大事なものがある。それは：人々の心にゴージャスを届けることだ。

白金（ため息）そのゴージャスが原因で店がつぶれたら本末転倒ですよね。

シーン ② エピローグ

（閉店後、剛田が白金に抱き枕を差し出す。）

剛田 白金君、君も試してみたまえ。このゴージャスな癒しを。

白金（困惑して）いや、結構です。寝るには硬すぎるし…。

剛田（強引に枕を押し付けて）恐れるな！経験してこそわかることもある。

（仕方なく白金が枕に頭を乗せる。その瞬間、目を閉じ、即座に寝てしまう。）

剛田（満足げに）ほら見たまえ。これこそ：ゴージャスの力だ。

（暗転し、剛田の「ゴージャス！」の聲が響き渡る中、幕が下りる。）

尺割

第一幕：剛田質店の朝（約15分）

•

シーン1：開店準備（5分）

•

- 白金が掃除をしながら店の赤字をぼやくやり取り。

- 剛田のゴージャス哲学が炸裂し、観客を掴む導入。

•

シーン2：お客登場（10分）

•

- 謎の紳士が入店し、アクアマリン製の抱き枕を提出。

- 物語の鍵となる「祖母の背景」を説明。

- 剛田と白金のギャップで笑いを取りつつ、品物の紹介を丁寧にする。

第二幕：ゴージャスな葛藤（約35分）

- シーン3：お客の事情（15分）

- 抱き枕の由来や「幸せの青い夢」のエピソードを詳述。
- 剛田が石言葉「アクアマリン」癒しと希望」を熱弁。
- 白金の常識的なツツコミでテンポよく進行。

シーン4: 試してみる(20分)

- 剛田が抱き枕を試し、硬さに意外な癒しを感じるというギャグシーン。
- 白金が「絶対寝れない」と反発しつつも、剛田の姿を見て困惑。
- 剛田が眠り落ちるシーンで観客を笑わせる。
- 最後は剛田が「本物だ!」と豪語して決断へ。

第三幕：ゴージャスな結末（約30分）

-

シーン5：取引成立（10分）

-

- 剛田が買取金額を提示し、謎の紳士が感謝して退場。

- 白金の「赤字だ！」と慌てる姿でコミカルに。

シーン6: エピローグ (20分)

- 剛田が白金に抱き枕を試すよう強引に促す。
- 白金が渋々試し、予想外に即眠りする展開。
- 剛田の「これがゴージャスの力だ！」という締めで明るく終了。